

第3次草津市環境基本計画 達成目標進捗調査票

資料2

- ◆調査票の構成について
- 【目標値】
 - 基本方針ごとに設定した達成目標にかかる各年度ごとの目標値を記載しています。
 - 本計画ではR8年度の間目標値とR14年度の最終目標値のみ設定しているため、他の年度は按分するなどして算出し、かつ書き表示で記載しています。
 - 【実績値】
 - 基本方針ごとに設定した達成目標にかかる各年度ごとの実績値を記載しています。
 - 【R7年度成果】
 - 「R7年度目標値との比較」と「前年度（R6年度）との比較」について記載しています。
 - 【R8年度目標達成に向けての課題および改善策】
 - R7年度成果を踏まえ、本計画の中間年度であるR8年度での目標達成に向けての課題および改善策を記載しております。
 - 「市民1人当たり都市公園などの面積」は、「第3次草津市みどりの基本計画」と整合を図り、中間年度をR9年度に設定しているため、当該年度での目標達成に向けての課題および改善策を記載しております。

1. 環境について学び行動できる地域社会づくり

達成目標	R7年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R14	担当課
環境学習および活動の企画・実施サポート件数（件）	【R7年度目標値との比較】 R7年度目標値230件に対して、実績値は169件となり、目標を達成できなかった。 環境学習教材の貸出についてはリーダーもあり、好評をいただくものの、当該事業やエコスタイルプラザそのものの認知不足などにより伸び悩んでいることが要因として考えられる。	環境学習の拠点であるエコスタイルプラザの在り方について検討をすすめるとともに、市HPやSNS等を見やすく改善する等し、広報活動に努める。さらに環境への意識や関心を深め、環境学習・活動に取り組んでもらえるよう、講師派遣や貸出教材の充実を図る。	目標値		(190)	(200)	(210)	(220)	(230)	240	300	環境政策課
	【前年度との比較】 市HPの構成を工夫したほか、まちづくり協議会や小・中学校、公設児童育成クラブに対し環境学習イベントのチラシを配布、市HPでの環境関連イベントの紹介件数が増えたことやグリーンセンターの利用が増えたことにより、R6年度実績値より増加させることができた。 新型コロナウイルス感染症の影響下における環境学習や活動の縮小傾向から概ね脱しつつあるが、教材貸出、講師派遣および活動支援は前年度と同程度であった。		実績値	113	165	135	139	143	169			
こども環境会議参加団体数（団体）	【R7年度目標値との比較】 R7年度目標値76団体に対して、実績値は65団体となり、目標を達成できなかった。 コロナ禍以前の水準（R1：64団体）に戻ってきたものの、休日における開催のため、小・中学校からの参加が難しくなっていることや、新規の地域活動団体が少なくなっていることから、参加団体数が横ばいで伸び悩んでいるものと考えられる。	「こども環境会議」の参加者の意見などを踏まえ、開催日や内容、運営手法の検討を行うとともに、庁内外の類似イベントとの連携を検討する。また、令和8年度に開催する第25回大会を記念大会として開催することで、当該事業の認知度向上と新たな団体への参加を促していく。	目標値		(68)	(70)	(72)	(74)	(76)	78	90	環境政策課
	【前年度との比較】 R6年度実績値61団体に対して、R7年度は65団体となり、参加団体数は4団体増加した。 R7年度より市内で活動されている団体等を抽出し、これまで参加されなかった団体も含めて、積極的に参加を呼び掛けたことが、増加の主な要因として考えられる。		実績値	0	46	52	52	61	65			

2. 気候変動への対策(緩和と適応)

達成目標	R7年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R14	担当課
愛する地球のために 約束する協定者数 (者)	【R7年度目標値との比較】 R7年度目標値75者に対して、実績値は63者となり、目標を達成することはできなかった。 関係機関と連携を図り、新たに協定を締結した事業者があったものの、協定解消を申し出る事業者もいたため目標には到達しなかった。	引き続き、協定を締結することがメリットとなるよう支援策を展開し、締結者の増加を図っていく。	目標値		(55)	(60)	(65)	(70)	(75)	80	110	温暖化対策室
	【前年度との比較】 R6年度実績値と比較して8者増加した。R7年度より開始した「草津市省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金」の交付条件に「愛する地球のために約束する協定を草津市と締結すること」を組み込んだことが協定締結のメリットとなり増加したと考えられる。		実績値	52	54	56	55	55	63			
地球温暖化対策に 取り組む市民の割合 (%)	【R7年度目標値との比較】 R7年度目標値48.3%に対して、実績値は41.3%となり目標を達成することはできなかった。 各セミナー、イベントを通して普及啓発活動は行っていたものの、目標値には到達しなかった。	引き続き、市民の意識醸成を図り、行動変容に繋がるよう各セミナー、支援策を実施して地球温暖化対策に取り組む市民の割合の増加を図っていく。	目標値		(40.3)	(42.3)	(44.3)	(46.3)	(48.3)	50.3	62.3	温暖化対策室
	【前年度との比較】 R7年度の市民意識調査から質問内容を、「地球温暖化対策(省エネやCO2の排出量削減など)に取り組んでいる。」と()の文言を追加したことにより、身近な省エネ取組等が「地球温暖化対策」に繋がっていることが理解され、実態に即した回答となり増加につながったと考える。		実績値	38.3	37.0	36.6	35.9	36.0	41.3			

3. 資源循環型社会の構築

達成目標	R7年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R14	担当課
1人1日当たりの家 庭系ごみ量(集団回 収量含む)(g/人・ 日)	【R7年度目標値との比較】 R7年度目標値517.5gに対して、実績値は469.7gとなり、目標値を達成することができた。 主に、指定ごみ袋制度の変更や物価など景気変動による影響が継続していると考えられる。 ※R8年度およびR9年度で目標値の見直しを予定している。 (草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の見直しによる)	「エコライフフェア草津」等のごみ問題を考える草津市民会議と連携した啓発事業や、ごみ分別アプリ等の媒体を通じて、引き続き、さらなるごみの減量や分別の徹底に向けた啓発を推進する。	目標値		(553.5)	(546.2)	(534.4)	(519.2)	(517.5)	516.0	509.0	資源循環推進課
	【前年度との比較】 R6年度実績値479.1gに対して、R7年度実績値は469.7gとなり、ごみ排出量は減少した。 主に、焼却ごみ類の排出量が減少したため。		実績値	557.4	542.8	515.4	490.6	479.1	469.7			
1人1日当たりの事 業系ごみ量(g/人・ 日)	【R7年度目標値との比較】 R7年度目標値244.3gに対して、実績値は231.6gとなり、目標値を達成することができた。 主に、ごみの減量・リサイクルに向けた事業者への訪問指導や円安、物価高の影響等により、事業系ごみ排出量が抑えられていることによるものと考えられる。 ※R8年度およびR9年度で目標値の見直しを予定している。 (草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の見直しによる)	引き続き、排出事業者への減量指導を行うなど、ごみの発生抑制と再使用に向けた取組を進める。	目標値		(260.5)	(258.7)	(252.4)	(244.3)	(244.3)	244.3	244.3	資源循環推進課
	【前年度との比較】 R6年度実績値234.8gに対して、R7年度実績値は231.6gとなり、ごみ排出量は減少した。 新型コロナウイルス感染症の自粛緩和により、事業系ごみ量が増加傾向にあったものの、排出事業者への減量指導や円安、物価高の影響等により、事業系ごみ排出量が抑えられていると考えられる。		実績値	232.4	239.6	240.0	233.4	234.8	231.6			

4. 自然とともに生活する環境づくり

達成目標	R7年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R14	担当課
生物多様性保全対策での外来生物の捕獲数(対象:アライグマ、ハクビシン、ヌートリア)(頭)	【R7年度目標値との比較】 R7年度目標値105頭に対して、R7年度実績値は96頭となった。 目標設定時に想定されたヌートリア被害がほとんど発生しておらず、捕獲にも至っていないため目標に届かなかったと考えられる。	市ホームページや広報、各種イベント等で外来生物に関する周知・啓発を積極的に行い、外来生物への認知度の向上を図る。 また、市内で外来生物の目撃情報や捕獲依頼があれば、速やかに適切な対応を行うことで、市域における生物多様性の保全に努める。	目標値		(85)	(90)	(95)	(100)	(105)	110	140	環境政策課
	【前年度との比較】 R6年度実績値77頭に対して、R7年度実績値は96頭となった。 各種イベントや媒体を通じての外来生物による生態系等への影響に関する周知・啓発により、外来生物の目撃情報が寄せられており、ハクビシンの捕獲頭数が増加傾向にある。(R6:アライグマ74頭、ハクビシン3頭、R7:アライグマ83頭、ハクビシン13頭)		実績値	62	30	37	60	77	96			
生物多様性保全の学習会への参加者数(者)	【R7年度目標値との比較】 R7年度目標値4者に対して、実績値は7者となり、目標値を達成することができた。 いきもの自然学校のサポーターに積極的に声かけを行い、受講補助を行った事が目標達成に結びついたと考えられる。	重点事業「いきもの自然学校」の受講者が今後、主体的に環境学習の企画運営を行っていただけるよう、これまで以上に様々な研修会等の学習の機会を周知し、参加意欲を促進できるような案内に努める。	目標値		(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	5	10	環境政策課
	【前年度との比較】 R6年度実績値6者に対して、R7年度実績値は7者となり、参加者数は増加した。 重点事業である「いきもの自然学校」について、地域主体での運営に向けて積極的に取り組んでいただいていることや、上記補助だけでなく比較参加しやすい研修を中心に案内したことが要因として考えられる。		実績値	0	0	2	3	6	7			

5. 健全な生活環境の保全

達成目標	R7年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R14	担当課
河川の水質における環境管理基準(BOD)の達成状況(達成回数/調査回数)	【R7年度目標値との比較】 R7年度目標値24に対して、実績値は18となり、目標を達成できなかった。 狼川と伊佐々川の2河川での調査のうち、狼川における基準超過(6回)によるもので、同上流での追加調査により、発生源が所在するエリアを絞り込みつつあるが、具体的な原因の特定には至っていない。	河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めるとともに、規制対象外の事業所に対しても啓発等を行っていく必要がある。 また、狼川流域上流の追加調査を継続して実施し、汚濁エリアの絞り込みや発生源の特定につなげていく。	目標値		(24/24)	(24/24)	(24/24)	(24/24)	(24/24)	24/24	24/24	環境政策課
	【前年度との比較】 R6年度実績値17に対して、R7年度実績値は18となり、河川の水質における環境管理基準(BOD)を満たす回数は増加した。 狼川の基準超過が前年度より1回少なかったためだが、改善傾向が季節変動の範囲であるのか、今後の数値の変化を注視していく必要がある。また、狼川については、追加調査を継続して実施し、具体的な原因特定に努める。		実績値	18/24	20/24	17/24	21/24	17/24	18/24			
法令に基づいた指導件数(件)	【R7年度目標値との比較】 R7年度目標値27件に対して、実績値は11件となった。	事業所への立入を計画的に実施し、法令に基づく改善指導等を行うとともに、事業所に自発的な法令遵守の取組を促すべく、啓発を継続していく。 また、立入を実施した事業所で指導事項が改善されずに何度も指導することがないよう、継続して立入を実施する。	目標値		(31)	(30)	(29)	(28)	(27)	26	20	環境政策課
	【前年度との比較】 R6年度実績値9件に対して、R7年度実績値は11となり、指導件数は増加した。 R6に立入を実施した事業所数が18件であったため、指導率50%。R7は38件に立入を行った為指導率は28.9%となる。指導件数は増加したが、指導率では減少傾向にあり、継続した啓発が重要と考えられる。		実績値	15	28	24	27	9	11			

6. うるおい豊かな快適環境づくり

達成目標	R7年度成果	R9※年度目標達成に向けての課題および改善策		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R9※	R14	担当課
市民1人当たり 都市公園などの面積 (㎡/人)	【R7年度目標値との比較】 都市公園は1公園、児童遊園7公園を供用開始し、目標値6.5㎡/人に対して実績値は6.71㎡/人となり、目標を達成することができた。第3次みどりの基本計画に基づき都市公園の整備を計画通り進めた結果と考えられる。	今後の情勢の変化に備え、オープンスペースの活用等の時代に合った施策の検討が必要となってきた。	目標値		(6.5)	(6.5)	(6.5)	(6.5)	(6.5)	6.7	6.9	公園緑地課
	【前年度との比較】 R6年度実績値6.74㎡/人に対して、R7年度実績値は6.71㎡/人となり、市民1人当たり都市公園などの面積はほぼ横ばいとなった。公園面積の増加率(+1.0031)と、草津市の人口増加率(+1.0070)が同程度となったことによるため。		実績値	6.71	6.66	6.65	6.63	6.74	6.71			
達成目標	R7年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R14	担当課
「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合(%)	【R7年度目標値との比較】 R7年度目標値26.4%に対して実績値は22.1%であり、目標達成には至らなかったが、第6次草津市総合計画(第2期)に掲げる目標値の22.3%に近い数値となっている。景観づくりに関する啓発や大津市との景観連携事業を継続して進めてきた効果が現れたものと考えられる。	市民の地域景観に対する意識の向上を図るため、湖岸の視点場のPRや東海道統一案内看板の普及など、びわこ大津草津景観推進協議会で取り組む景観連携事業等を通して、継続的に啓発していく必要がある。	目標値		(22.0)	(23.1)	(24.2)	(25.3)	(26.4)	27.5	34.1	都市計画課
	【前年度との比較】 R6年度実績値22.0%に対し、R7年度実績は0.1ポイント増の22.1%となった。上昇割合が緩やかであるが、3年連続で増加しており、地域景観に対する注目度は上昇傾向にあると考える。		実績値	20.9	19.0	17.3	19.5	22.0	22.1			

※「市民1人当たり都市公園などの面積」は、第3次草津市みどりの基本計画と整合を取り、R9年度に設定。